

第19回地域の魅力発信セミナー

平成28年3月
地方連携推進室

平成28年2月16日(火)、外務省講堂において、地方自治体(宮城県、宮崎県、奈良県橿原市、栃木県)との共催で、在京外交団等を対象とする第19回「地域の魅力発信セミナー」を開催しました。在京外交団等から81名(66団体)の参加があり、各地方自治体により各地域の観光の魅力や投資環境の利点を訴えるプレゼンテーションを行ったほか、内閣官房より、2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会におけるホストタウンの推進について説明がありました。また、プレゼンテーションの後には、各地域の特産品や観光を紹介するブース出展と交流会が行われました。

【各地方自治体によるプレゼンテーション(プレゼンテーション順)】

- (1)宮城県：外資系企業誘致に向けた宮城県の魅力
- (2)宮崎県：スポーツキャンプ・MICEを「日本のひなた宮崎県」で開催しませんか。
- (3)橿原市：はじまりの地、そして日本人の心のふるさと
- (4)栃木県：とちぎの魅力と投資環境の御紹介

プレゼンテーションでは、各地方自治体は、それぞれの観光地や投資環境、スポーツキャンプ地などの魅力をアピールしました。



【交流会の様子】

各地方自治体が出展したブースでは、古代衣装を身につけた職員や、イメージキャラクター(ゆるキャラ)が外交団等を出迎え、地元の特産品として、例えば宮城県は「萩の月(菓子)」、宮崎県は「みやざきキャビア」、奈良県橿原市は「柿の葉ずし」、栃木県は「スカイベリー」等を試食品・試飲品として提供し、どれも大変好評でした。また、各ブースでは、外交団等出席者と自治体の方々が名刺交換をしながら、観光やスポーツ施設等の魅力について熱心に意見交換をする姿も多く見られました。今回の交流会が、今後の海外観光客等の地方訪問等のきっかけになることを期待しています。

セミナーに参加した外交団からは、「実際に現地を訪問してみたい」、「今後も、日本各地の魅力を知る機会を提供してほしい」などの声が聞かれました。参加自治体からは、「オリンピック事前合宿誘致の対象国の大使館員との交流が図れた」、「これまで交流のあった大使館などにも改めてPRすることができた」などの感想が寄せられています。外務省では、地方の皆様と外交団が関係を築くための情報提供と交流の場として今後も様々な取組を行ってまいりますので、皆様からの御参加、御協力、御提案をお待ちしております。